災害と物価高から市民守る日本共産党

松戸市議会議員

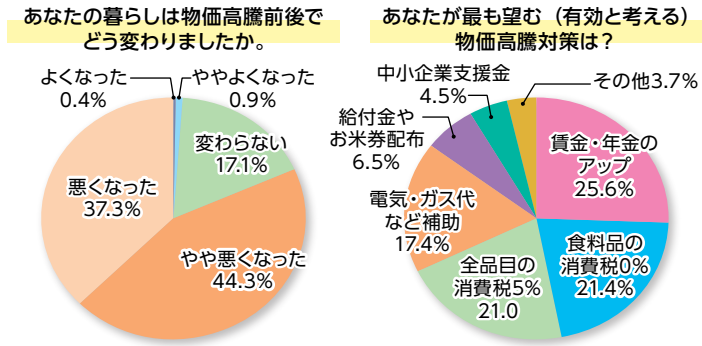


山口正子 まさこ

看護師38年、うち28年の助産師の経験生かして子育てや医療・介護の分野で市民の命と暮らしを守れと力を尽くしてきました。しかし、物価高のもとで、国民健康保険や介護保険の負担は耐えられないほど重くなり、市民の暮らしは苦しくなるばかりです。

市民の税金を新松戸東側の「赤字マンション」につぎ込むような市政から、暮らし最優先の松戸市へ、ごいっしょに切り換えましょう。

日本共産党のアンケートに寄せられた市民の「暮らしが苦しくなった」の声



●プロフィール

病院勤務38年間、うち助産師28年間、高齢者の看護3年間。学童父母会長や労働組合婦人部長を経験。市議4期、健康福祉常任委員、北松戸在住。趣味／映画鑑賞・ハイキング。鹿児島県出身。

■主な活動地域

北松戸・上本郷・南花島（常磐線東側）・竹ケ花・中和倉・新作・馬橋・三ヶ月・幸谷（武蔵野線南側）・八ケ崎・常盤平（1丁目除く）・牧の原

サポーターズ X

みなさんといっしょに実現しました



住民と「わたり初め」をする山口市議（中央）とみわ県議

- ●2025年　小学校給食の無償化
- ●2025年　八ケ崎消防署前に横断歩道を設置⇒
- ●2023年　千駄堀口交差点に信号機を設置
- ●2017年　コミュニティバス中和倉コース開始
- ●2016年　産後育児不安を専門家が支える「産後ケア」を開始
- ●2015年　国道６号線馬橋弁天歩道橋下に歩行者用信号機を設置
- ●2014年　常盤平駅南口エレベータ設置決定（2016年完成）

山口正子市議の活躍…住民とともに

助産師として960人のお産を介助し、いのちの尊さを抱きしめてきました。その経験を生かし、医療・福祉分野に力を入れてきました。

地域では、1期目の2014年、「設置はむずかしい」と言われていた常盤平駅南口にエレベータ設置を、住民のみなさんの10年越しの運動と連携して実現しました。

これを聞いた馬橋の方から、「何人も事故にあっている。信号機をつけて」との声が寄せられ、町会の協力を得ながら、これも難しいといわれた国道6号線弁天歩道橋下の信号機設置を1年ほどで実現しました。

住民の願いを、困難があっても住民とともに粘り強く取り組み実現する。日本共産党の議員のモットーです。

みなさんと力合わせて実現めざします

◆どの子ものびのび

・中学校給食無償化　・常盤平第一小学校廃止の中止

◆安全な街づくり

・水害対策の強化　・明市民センター前に横断歩道を

◆高齢者を応援

・タクシー料金の半額補助　・補聴器購入補助の増額
・年金で入れる特養ホーム

◆地域の願い

・八ケ崎・三ケ月、常盤平にコミュニティバスを
・馬橋駅東口の駅前広場と県道の拡幅
・牧の原中学の通学路に横断歩道設置を

水害から市民を守る

日本共産党のみわ由美県議と松戸市議団は8月13日の豪雨被災直後から被災住民のもとに駆けつけ、災害対策本部を立ち上げ、被災者の声を直ちに松戸市に届け、ワンストップコールセンターを開設させました。17日は被災者の声を18項目にまとめた要望書を市に提出しました。



家財のかたづけを手伝う山口市議（左端）

災害対策を抜本的に強め、中学校給食無償化、教員不足解消を!

まつど民報　2026年10・11月号外　日本共産党の活動と見解を紹介します。
日本共産党松戸・鎌ケ谷地区委員会　〒270-2252　松戸市千駄堀1810-2　☎047-349-1544

党地区委員会ホームページ

市民の命と暮らし最優先の松戸市へ
ブレずにがんばる日本共産党の4議席

自治体のお仕事は?

「住民の健康と福祉の増進」(地方自治法第2条)が本業のはずです。松戸市はどうでしょうか?

松戸市では

2026年度の予算では国民健康保険料など約41億円の市民負担を増やす一方で、新松戸東側区画整理の赤字の穴埋めに30億円の税金をつぎ込もうとしています。他にも無謀な開発がめじろ押しです。

中学校給食無償化は5.4億円〔一般会計予算の0.3%弱〕でできます!

こんな市の仕事ぶりをチェックするのが市議会の役目ですが、市民負担増も無謀な開発もフリーパス。(右の表を見てください)

すべての議案をチェックするためには4つの常任委員会すべてに委員を出せる日本共産党の4議席が欠かせません。



2026年3月議会

議案	日本共産党	政策実現フォーラム・社民	公明党	清風まつど	松戸志政会	無所属
2026年度予算	×	○	○	○	○	△
市営水道料金値上げ	×	○	○	○	○	○
新松戸東側・松戸駅東側開発予算	×	×	○	○	○	△
国保・後期高齢者医療保険料値上げ	×	△	○	○	○	○
イラン攻撃の即時停止を求める意見書	○	○	×	×	×	△

○賛成　× 反対　△賛否分かれる

災害対策、くらし・営業、医療・福祉、公共交通…
力合わせ市民のために働く市政を取り戻そう

世界でも日本でも、松戸でも市民の力で

ニューヨークでは昨年11月、民主的社会主義者(DSA)のゾーラン・マムダニさんが、公共取り戻そうと、家賃の凍結などを掲げて市長に。

日本でも、今年3月の清瀬市で地域図書館の再生を公約に掲げた共産党市議団長の原田ひろみさんが市長に当選。

松戸でも市民の声で、市役所の移転建て替えが現地建て替えに転換。小学校給食の無償化にも市民の声が生かされました。

実現します! 市民アンケートのトップ5

1. 教職員不足の解消を　41.6%
2. 国民健康保険料の引き下げを　35.5%
3. 小中学校給食の無償化を　34.1%
4. 年金で入れる特養ホームを　34.0%
5. コミュニティバス・タクシー代補助を　30.0%

憲法を守り、国民が主人公をつらぬく日本共産党です

憲法と国連憲章が行動基準です

日本共産党の行動基準は、国内では日本国憲法です。憲法の全条項を守り、国民の命と暮らし、人権と民主主義に生かします。

国際的には国連憲章が行動基準です。戦争や紛争は国連憲章にもとづいて解決すべきであり、アメリカやロシア、イスラエルの横暴は許されません。

日本共産党リットリンク

皇室典範での共産党の主張にビックリ!

総選挙後の国会では、高市政権の数を頼んだ暴走に、自民党内からも批判の声が上がりました。

そのなかで、「女性天皇への道を閉ざす皇室典範改定案には反対」という日本共産党の主張が注目を浴びました。日本共産党は天皇の制度でも「その地位は国民の総意による」という憲法をそのまま生かします。

憲法9条は変えない 戦争準備の大軍拡やめる 税金は暮らしに回す!